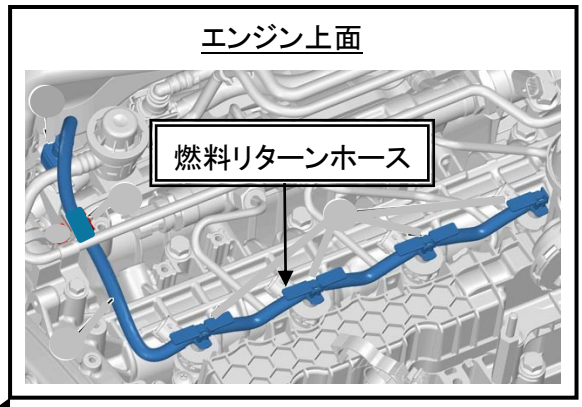
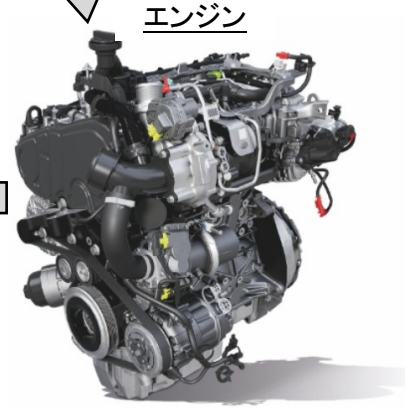
改 善 箇 所 説 明 図







□ 対策部位

基準不適合部位

燃料リターンホースにおいて、製造工程での部品管理が不適切なため、柔軟性を高めるための加硫処理をしていないものがある。そのため、当該ホースの柔軟性が不足して接続部の密着性が不十分となり、そのまま使用を続けると、接続部から燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料リターンホースに印字されている製造年月日および識別記号を点検し、該当する場合は燃料リターンホースを良品に交換する。

識別　：運転者席側ドアロック・ストライカ付近に当該リコールの識別ステッカを貼付する。